

【第3編 資産運用 12-6】世界全体の株式に投資できる ETF

(1)ETF の特徴と選定ポイント

①ETF はインデックスに対する投資方法である

→株式指数などに連動する運用成果を目指す

②運用中にかかるコスト (信託報酬) が非常に低水準

→ただし株式のように購入時手数料がかかる

→対象とするインデックスが同じであれば

運用成果に大きな差はないので、コスト比較に集中

③流動性を確保するために、売買高や純資産にも注意

④分配金が自動的に再投資されないことも忘れずに

(2)国内 ETF に比べて優位性が高い海外 ETF

①日本の金融機関ではこれまでに ETF が積極的に

販売されてこなかったため、ETF 市場が成熟していない

→売買高や純資産額があまり大きくないものも多い

→アメリカの ETF 市場は、日本の 10 倍以上

世界全体の ETF 市場のうち 7 割ほどを占める

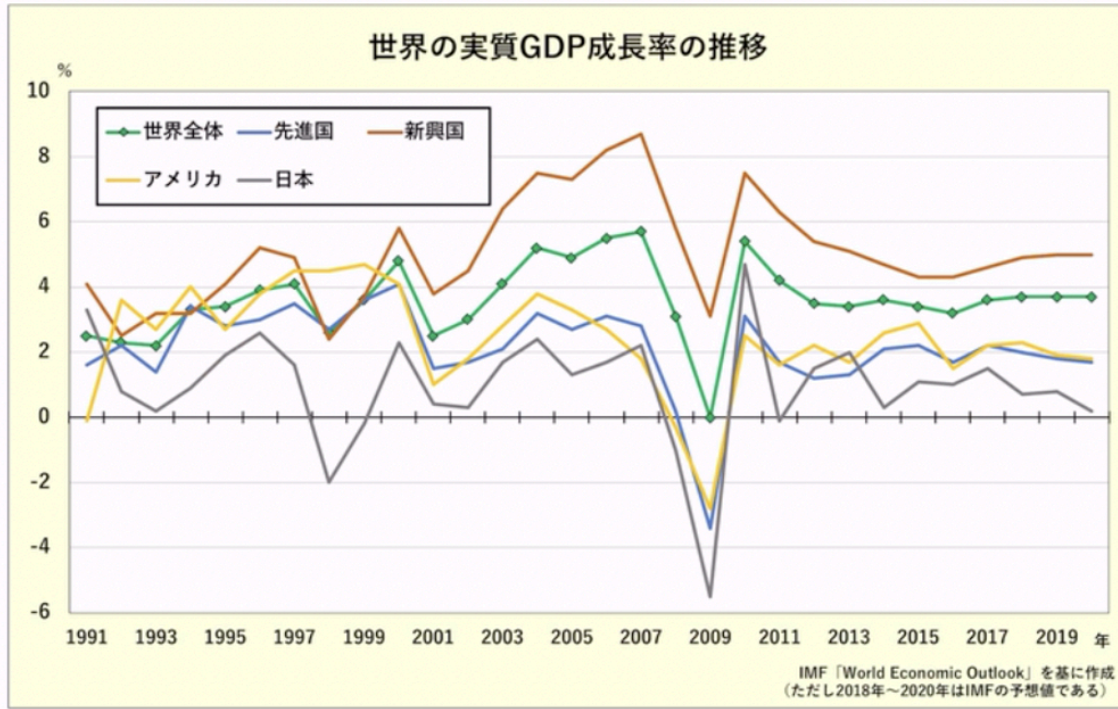
②海外 ETF は業者間の競争がとても激しいため、

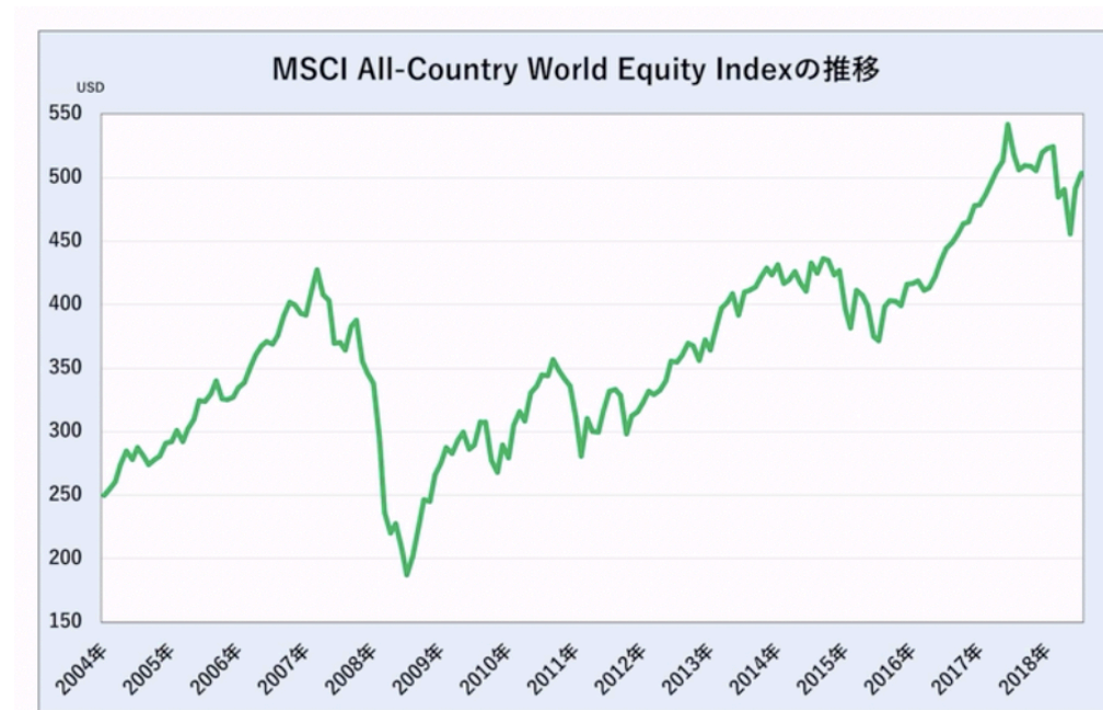
残高が増えてくると、コストを引き下げるケースも多い

ティッカー	ファンド名	信託報酬 (%)		
		2014年	2015年	2016年以降
VT	バンガード・トータル・ワールド・ストックETF	0.17	0.14	0.11 (2017年2月24日)
BND	バンガード・米国トータル債券市場ETF	0.07	0.06	0.05 (2016年4月26日)
BNDX	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF (米ドルヘッジあり)	0.19	0.15	0.12 (2017年2月23日)
IVV	iシェアーズ・コア S&P 500 ETF		0.07	0.04 (2016年10月5日)
HDV	iシェアーズ・コア 米国高配当株式 ETF		0.12	0.08 (2016年10月5日)

モーニングスターのデータを基に作成

(3)世界全体の経済成長を享受する





(5)世界全体の株式に投資できる ETF



バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF

2018年12月31日現在

VT

・FTSE グローバル・オールキャップ・インデックス

→世界中の 47 カ国(約 7,400 銘柄)

→約 98%をカバー(cf.ACWI:85%)

→純資産額は 133 億ドル(2019 年 1 月 31 日時点)

→信託報酬は超低水準:0.11%

→積立投資なら「楽天・全世界株式インデックス・ファンド」

<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/fund/detail/?ID=JP90C000FHC4>